

弾丸がとんで来ました。

嘉作は全く不意をつかれました。「バタリツ……」と嘉作は地面に倒れました。胸からは赤い血がドクリドクリ流れ出ました。嘉作は遂に起き上れませんでした。友だちのあざ笑う声と犬がほげしくほえる声にまじつてカラスが鳴く声をききながら二十五才の生命を落としてしまいました。

今、本田家の墓地の一隅に「天明五年六月大湖滴水信士」の法名を刻んだ嘉作の碑が淋しく建つていて魔術師の末路を哀れに物語っています。